



今さら聞けない！「お盆」ってなあに。

※お盆とは、ご先祖さまの霊をまつり、お迎えして感謝の気持ちを伝える日です。

※お盆の時期は地方によりますが、一般的8月13日～16日となります。

※お盆の準備

①ご先祖さまがお空から来る時のために、キュウリで作った馬を、ご先祖さまが帰る時のために、ナスで作った牛を用意します。②色や形の見た目からも「提灯」に似ていることから、ご先祖さまが帰ってくる目印となる、ほおずきを飾ります。③家族と共に楽しいひとときを過ごせるように「盆踊り」をします。④ご先祖さまが眠っているお墓回りをきれいにし、今自分が元気であることに感謝の気持ちを伝えます。 出典：保育と遊びのプラットフォーム [ほいくる]～子どもに伝えやすい行事の意味や由来、過ごし方アイデア～



「Eco列車でいこう！」～第166回～ 夏の立山へ行きたい！

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を照会するコーナーです！)



「夏の立山へ行きたい。」7月16日(日)。富山県にある「立山駅」から予約していた9:20のケーブルカーに乗車、10分で「美女平」着。高原バスに乗り換え、標高1900mの「弥陀ヶ原」で下車した。

待合所の係員さんに申し出て、2時間後の「室堂」行を予約した後、大日岳を望むベンチで休憩し、ワタスゲやニッコウキスゲを愛でながら、のんびりと散策した。「弥陀ヶ原ホテル」で氷見うどんのランチ。

再びバスに揺られて、標高2400mの「室堂」着。30分ほど歩いて、今夜の宿「雷鳥荘」に到着。8人の相部屋、1泊2食で11,000円。「雷鳥沢キャンプ場」を見下ろす、山小屋と旅館の間のような宿だ。

ベッドに荷物を置いて、談話室でお待ちかねの生ビール。中ジョッキ800円は良心的。

浴室は新しく、源泉かけ流しなので清潔な湯が溢れる。17:30から夕食。山の中とは思えない料理が並び、お刺身もある。夏休みのバイトだろうか、女子大生くらいの給仕さんが彩りを添える。

食後、2度目の温泉の窓から夕日を眺める。外に出るとキャンプ場の灯り。色とりどりのテントがキレイだ。談話室に陣取り、持参のウイスキーと炭酸水でハイボールの二次会をした後、21時に就寝。ベッドの中にはコンセントと読書灯が完備、布団もフカフカで快適。たちまち眠りに落ちた。

深夜3時頃、宿の外に出てみる。満点の星空を見上げたあと、3度目の温泉。4時を回ると、空が白み始める。この時間から出発する登山客もいる。気温は12度くらいか。ライトダウンを羽織って、ご来光を待つがなかなか出てこない。足元から冷えてきたので4度目の温泉。

朝食は6時から。バイキングでおなか一杯になり、7時にチェックアウトした。

さあ、山へ行こう！雲一つない青空の下、「大走谷」を500m登る。空気が薄く息が上がるが、可憐なお花「チングルマ」に後を押される。残雪の白と、草原の緑、そして青空。絶景だ。頂上稜線に出ると、標高3015m、立山最高峰「大汝山」は目の前だ。



「雷鳥荘」の夕食。ビールがすすむ。



早朝。地獄谷の向こうに雲海。



雪の上の2人。結婚式の前撮り。